



# 留学生と語り合う No. 72

## RKK ニュース (2018年夏号)

NPO 法人 留学生と語り合う会 (RKK) Relationship and Kindness are the Kings of Peace

### RKK 総会 & 懇話会を開催!

Holding the Annual General Meeting and Informal Gathering

5月6日(日)、  
かながわ県民センターにおいて、通常総会が開催されました。

本年度のスローガンは「ワンステップ・アップ」として、RKKの魅力増強を図ることです。

・日本語支援会員の増強

・文化・ファミリー交流パートナーシップの導入

・留学生の関心の高い工場・社会見学先の選択

・勉強内容を刷新した中国語学習

・全員参加型 RKK フェスティバル

・総意を集めた創立20周年記念事業プロジェクト

総会終了後、恒例のRKK懇話会が開かれました。テーマは、「RKKと私、昨日、今日、明日」でした。

ショートスピーチでは、ベトナム出身留学生のグエン・ワン・フィさん、日本人会員の岩永さん、杉田さん、畔取さん、大久保(都代美)さん、廣越さん、植竹さん、鈴木(隆)さんが、それぞれの体験や意見を話されました。スピーチの後は、参加者が6つのテーブルに分かれて、茶菓子、飲み物をいただきながら懇談しました。このRKK懇話会は、RKK会員が一同に会することができる数少ない機会であり、みなさんは、貴重な情報交換ができて満足なご様子でした。(萩原 記)



The Annual General Meeting was held at Kanagawa Kenmin Center on Sunday, May 6.

This year's slogan is "One-step Up" that aims to increase RKK's attraction.

- Increase of the number of Japanese support members
- Introduction of the Culture and Family Exchange Group Partnership
- Selecting a place in which international students are highly interested for factory tours and field trips
- Innovation of learning contents in Chinese lesson
- Holding the RKK Festival in which everybody participate
- Gathering consensus for the 20<sup>th</sup> anniversary memorial project

We had the regular informal gathering after the meeting, and its theme was "RKK and I, yesterday, today, and tomorrow". In the short speeches by Mr. Nguyen Quang Huy from Vietnam and seven Japanese members who are Mr. Iwanaga, Ms. Sugita, Mr. Kurotori, Ms. Toyomi Okubo, Mr. Hirokoshi, Ms. Uetake, and Mr. Takashi Suzuki, they talked about their own experiences and opinions. After the speeches, the participants separately seated at six tables and enjoyed conversation while having sweets and drinks. Since it was a rare opportunity that all RKK members could meet together, they looked satisfied being able to have valuable exchange of information.

(Translated by Azusa Sugita)

## お知らせ

### ● 日本語の教え方講習会

開催場所: 県民サポートセンター

講師: 薄井廣美先生(横浜国大非常勤講師)

日程: 10/7(日) 10/14(日) /10/20(土)

11/11(日) /11/18(日)

### ● Stroll and Hiking in Kamakura

Date: September 20, 2018 (Thurs.)

Meeting: 1:00 p.m. at Kamakura Station  
of JR Yokosuka Line and Enoden Line

Visiting Places: Small charming shrines and  
Great Buddha

Please register for participation.

## グループ活動だより 文化・ファミリー交流グループ



### 思い出に残った平塚七夕

私は中国のウイグル自治区から参りましたウイグル人留学生のデアラムです。日本に来て2年間経ちました。今回初めて日本の七夕祭りに参加しました。先生達が留学生のために浴衣、お菓子、飲み物などを準備してくださいました。みんな浴衣を着てから、願い事を短冊に書いて竹に吊しました。それからみんな一緒に平塚七夕祭り会場に行き、賑やかな七夕祭りを楽しみました、一緒に記念写真も撮りました。暑い一日だったんですが、日本の伝統的な祭りを自分自身で体験して、先生達が熱心に説明してくれたおかげで、日本の文化をもっと深く理解することができて本当に嬉しかったです。先生達が丹念に準備してくれたおかげで、天気の暑さにも関わらず、留学生みんな浴衣を着て先生達と一緒に楽しい一日を過ごすことができて、沢山の思い出を作りました。2018年7月7日平塚七夕祭りの思い出を一生忘れない。来年もRKKのみんなと一緒に七夕祭りに参加したいと思っています。(原文のまま)

よこはまこくりつだいがくがくいん ちゅうごく  
横浜国立大学大学院 デリアラム (中国)



にしにほん ちゅうしん じんたい ごううひがい つた なか てんこう けねん  
西日本を中心に甚大な豪雨被害が伝えられる中、天候が懸念されたが

とうち あつ あめ ふ ぜっこう まつ  
当地は暑くもなく、雨も降らない絶好のお祭り  
びより こく りゅうがくせい にん  
日和となりました。6 か国からの留学生18人と  
じん そうぜい よにん さんか え たの  
日本人24人、総勢40余人の参加を得て楽しく  
盛大に開催されました。



じよし ぜんいんゆかた き ひやっかりょうらん  
女子留学生は全員浴衣を着、百花繚乱  
はなばたけ こうりゅうかい たんざく ねが  
花畑のようでした。交流会では短冊に願いを  
こ たなばた まな うた おお  
込め、七夕のいわれを学び、歌を歌って多くの  
留学生と交流しました。平塚八幡宮では茅の  
わ しあわ いの  
輪ぐりをして幸せを祈りました。

かいじょう うつく かざ おおぜい ひと  
七夕会場では美しい七夕飾りを大勢の人で  
こ あ けんぶつ なつまつ  
込み合う中見物し、日本の夏祭りを楽しみまし  
た。(徳屋 記)

## グループ活動だより 社会・工場見学グループ

よこはまやまてちく れきし くわ もりたし あんない はっしょう ち さんさく あと ちゅうかがい ちゅうしょく と  
横浜山手地区の歴史に詳しい森田氏の案内で麒麟ビール発祥の地を散策した後、中華街で昼食を摂りながら  
わたし さけ theme miniこうりゅうかい じっし けんがくかいさんか もくてき りゅうがくせい たず ほん ぜんいん beer しん  
「私とお酒」をテーマにミニ交流会を実施。見学会参加の目的を留学生に尋ねると殆ど全員がビールの試飲と  
こうじょうけんがくご 3しゆるい しんせん beer しん ごぜんちゅう さんさく じゅうぶん かわ のど みな  
のこと。工場見学後の3種類の新鮮なビールの試飲は、午前中の散策で十分に乾いた喉にしみわたり、皆さんそ  
れぞれに美味しいビールの味を堪能されていました。(山口 記)

### よこはまこうじょうけんがく 麒麟ビール横浜工場見学

よこはまこくりつだいがく ちゅうごく  
横浜国立大学 王 珏 (中国)

わたし だいいんしゅっしん  
私は中国大連出身の王珏

です。横浜国立大学の国際

社会学部で勉強していま

す。6月23日にRKKの

staff みな りゅうがくせい  
スタッフの皆さんと留学生

が集まり麒麟ビール発祥

の地と麒麟ビール横浜工場を見学に行きました。ま  
ず、元町中華街周辺を散策しました。スタッフの一人  
が年表や当時の地図を準備され、横浜の歴史をわかり  
やすく説明してくださいました。横浜が開港後様々な



かたち せんしんてき せいようぶんか ぎじゅつ せっきよくてき きゅうしゅう  
形で先進的な西洋文化や技術を積極的に吸収したことがよくわかりました。

麒麟ビールもその時設立され、ノルウェー系アメリカ人が元町地区にビールに適した湧き水を見つけ、日本で  
はじめて醸造されたそうです。ビール発祥の地の名残りとして今も井戸が残っていることに驚きました。

昼食後、麒麟ビール横浜工場に行きました。いつもテレビで麒麟ビールのCMを見て「一番搾り」の言葉を  
耳にしていたのですが、その意味がわかりませんでした。今回の見学を通して、麒麟ビールのこだわりの製法を  
理解できたのと同時にその意味がわかりました。麦芽を試食したり、ホップの香りを嗅いだり、一番搾り麦汁と  
二番搾り麦汁を飲み比べたり、すべてが初めての経験でした。ツアーの最後に3種類の麒麟ビールを試飲し、ど  
れが一番自分好みの味が議論するなど面白かったです。

見学に参加して本当に良かったです。100年にわたる麒麟ビールの歴史に触れ、麒麟ビールが横浜の発展に  
重要な役割の一部を担ってきた事に感銘を受けました。(原文のまま)

# トピックス

## 弘明寺学生会館スプリングパーティーに参加して

弘明寺学生会館スプリングパーティーに参加して  
弘明寺学生会館スプリングパーティーに参加して  
弘明寺学生会館スプリングパーティーに参加して

弘明寺学生会館スプリングパーティーに参加して  
弘明寺学生会館スプリングパーティーに参加して  
弘明寺学生会館スプリングパーティーに参加して



## 横浜地区中国留学生学友会2018年新生歓迎会

横浜地区中国留学生学友会2018年新生歓迎会  
横浜地区中国留学生学友会2018年新生歓迎会  
横浜地区中国留学生学友会2018年新生歓迎会

横浜地区中国留学生学友会2018年新生歓迎会  
横浜地区中国留学生学友会2018年新生歓迎会  
横浜地区中国留学生学友会2018年新生歓迎会



## 横浜市大新入留学生との会話の始まり

横浜市大新入留学生との会話の始まり  
横浜市大新入留学生との会話の始まり  
横浜市大新入留学生との会話の始まり

横浜市大新入留学生との会話の始まり  
横浜市大新入留学生との会話の始まり  
横浜市大新入留学生との会話の始まり



## グループ活動だより 日本語支援グループ

### わたし にほんごしえん 私の日本語支援

ひがしちく にしむらまさき  
東地区 西村真幸

私が日本語を指導する目的は、留学生がすっかり日本びいきになって帰国後日本で活躍してくれることです。実際のレッスンでは語学レベルに準じたテキストを使用し、その読み合わせやQ&Aを実施しております。それだけでは、単なるレッスンになるので学校での出来事や、仲間との会話でよく理解できなかった事等を聞き、出来るだけ丁寧に説明をしております。また出身国に関連した新聞記事を取り上げて、ニュースの背景を聞きながら、そのうえで日本との対比を考え、お互いの国の生活習慣や、文化の違い等について話し合い相互理解を深めるようにしております。日本の生活習慣や文化を紹介するには、例えば向田邦子の短編等を読み合わせながら、言葉の説明や行動の背景などを解説することでかなり効果があるように思われます。時には普段何気なく使っている道具や言葉の意味を問われて、答えに窮することもあります。次回までに調べてくると約束し、辞書を片手に四苦八苦する事もよくあります。留学生を指導しながら私自身も学ぶことがしばしばあり、両者が一歩ずつ前進しているようなレッスンを心掛けております。

## 留学生からのたより

### にほんこ どくりつ おとな 日本で子どもから独立した大人へ

エレメーエヴァ・エカテリーナ (ロシア)  
よこはまこくりつだいがくだいがくいんかんきょうじょうほうがくふ  
横浜国立大学大学院環境情報学院

皆さん、今日は。エレメーエヴァ・エカテリーナと申します。友達にカーチャと呼ばれて  
います。ロシアサンクト・ペテルブルクからきました。横浜国立大学環境情報学院 情報  
メディア専攻の修士2年生です。学院では、あまり文系の専攻がないのですが私と他の方の  
何人か異例のこととして言語学を勉強しています。その何人かのなか、私は一番文系の人  
だろう。他の方は、プラスアルファとして、ITなどを勉強していましたが、私は言語学だけ  
に集中してました。言語学の分野も幅広くて、私がロシアで学部の時代勉強したことと  
今日本の大学院で勉強していることと全く違います。今は、語用論という言語学の一つの  
分野を勉強しています。私の学院は主に理系ですが私と私の指導教員の先生の研究分野が似ているので、活発な研究  
できます。今研究していることは、ポジティブとネガティブの丁寧さの文化です。日本での留学は、私にとって  
とても大切な人生のステップの一つでした。日本に来る前に、私は一回しか一人旅行していませんでした。日本に  
来た時は、私はもう22歳でしたが完全に独立している大人だといえませんでした。友達作りも苦手でした。しかし、  
日本に来てから、新しい友達が沢山出来ました。日本人の友達も他の国の友達もいるので本当に恵まれていると感  
じています。日本国内旅行も、韓国と香港の旅行もして、人生が経験ゆたかになりました。来日したばかりのときは、  
色々な悩みも結構ありましたが、日本人の皆様と自分の家族と友達にずっと我慢強く支援されていて、なんと  
なく楽しむことになりました。RKKのイベントは、日本文化を味わう方法のひとつでした。イベントに参加して、  
色々なかたとお話できて、もっと強く日本の文化と結ぶことができました。心から感謝します。(原文のまま)



## 地区からのたより

### 留学生を囲んでのホームパーティ

中央地区 岩科咲子

今年度最初の中央地区交流会を、6月10日の日曜日「かなファンステーション」での午前の懇談会と、留学生を招いての昼食会との二部形式で開きました。懇談会には8人が出席、いつものように各自の活動報告があり日本語指導中の会員からは、指導終了や連絡が取れないなどの具体的な現状が語られ、マッチングリストを訂正しました。交流会スタッフが今年度変わったこともあって、まず5月にあった総会の報告から会が始められ、RKK全体の様子を把握できたのは良い試みでした。食事会は中央地区会員の星和子さんが自宅で営まれている店「星や」に場を移し横国大学院に留学中の中国女性ヒツさん(大連出身)とマヨウさん(蘭州出身)を迎えて開かれました。懇親会会場からは地下鉄を利用し、移動に30分余かかりましたが、片倉町駅に続く閑静な住宅街の一角で、友人の自宅に招かれたようなアットホームな雰囲気でご招待して頂き星さんご一家の留学生を支えたいという熱いお気持ちに感激いたしました。ご一家の故郷の会津料理や十割そばを味わいながら、話題は留学生たちの専門の研究や将来の進路から、各々の故郷の郷土料理にも及び、蘭州ラーメンが国外でも有名なことや大連の海鮮食材の豊富さなど知識も広まり、とても楽しく和やかなひと時を過ごしました。

### 明治学院大学「戸塚まつり」に初参加

西地区 前田六生

5月27日(日)に明学大戸塚キャンパスで「箏の演奏とワークショップ」を行いました。富志乃会員には、ご家族総出でチラシ、プログラム作成、会場設営から司会進行(ご主人)、演奏(ご母堂、ご子息)まで全面的な協力で実現したほのぼのとした催しになりました。

留学生張恬さん(西浦さん/中央地区支援)の「花嫁人形」を始め、全10曲が演奏されました。滅多にない箏の演奏ですので来年も参加して、多くの留学生、地域の方々に聴いて頂けるように工夫したいと思います。



## グループ活動だより 中国語学習グループ

### 私の中国語学習

中国語学習グループ 鈴木隆

私が最初に中国語に興味をもったきっかけは、カナダの機械メーカーに勤務していた時に、その会社にいた何人かの中国からの移民と知り合いになったことです。何かの折に中国語の「先生」とは日本語の「〇〇さん」という意味で、日本語の「先生」とは中国語で「老師」と言うことを知り、二つの言葉の類似性と相違性を面白く感じました。定年近くになって勉強を始めてもう10年くらいになります。しかし自らの怠惰と記憶力の衰えを言い訳にして一向に上達していないのが悩みの種です。今は中国語学習グループ内で、優しい段老師とメンバーの方々と楽しく交流しながら学んでいます。ところで皆さんが外国語を学び始める動機は、仕事上必要になったとか、旅行

い きょうみ ひと いろいろ おも ばあい ぶんかてき つな  
に行き興味をもったとか、人によって色々あると思います。中国語の場合は私のように文化的な繋がりから興味  
も 持たれる方も多いのではないのでしょうか。ここで一つ例をあげると、物の数を書く時に、「1ヶ、2ヶ、」とカタ  
かなのヶを使うのは何故か疑問に思ったことはありませんか？ 中国では数を数える数量詞で最も一般的なもの  
に「个」があります。これは「個」の簡体字なのですが、実は古くから字を簡略化した「个」が使われてきました。  
にもつ ひとふで てが み  
中国から来た荷物に一筆の手書きで「个」と書かれているのを見た当時の日本人が「ヶ」と書き始めたと言われて  
います。どうですか？多少なりとも中国語に興味を持たれた方は是非中国語クラスへ！

## おもな活動 (2018/5 から 2018/7 まで)

### 通常総会・理事会・懇話会

- ◇5/6 サポートセンターにて、午前は理事会、午後は第9回通常総会が開かれ、本年度のスローガンは「ワンステップアップ」と決定。引き続き開催された「懇話会」には「RKKと私」をテーマとして、総勢35人の参加のもと、情報・意見交換がなされた。

### スタッフミーティング

- ◇6/24 午後、サポートセンターR604にて25人のスタッフの参加のもと、2018年度第1回スタッフミーティングが行われ、本年度のスタッフ体制を確認した。その後、恒例の活動グループ、地区交流会、委員会それぞれから、本年度年間計画を主体にG&C（報告・連絡そして相談）が実施された。また、RKK創立20年記念事業推進意見交換会の報告あり。

### 活動グループ

- ◇日本語支援G：10月、11月の日本語の教え方講習会を企画中。
- ◇文化・ファミリー交流G：7/7の湘南ひらつか七夕まつりには42人が参加。
- ◇中国語学習G：6月から8月までの新たなコースがスタート。
- ◇社会・工場見学G：6/23 キリンビール発祥の地&横浜工場見学に19人が参加。

### 地区交流会

- ◇東地区：7/8に交流会と懇親会を実施。11人参加。
- ◇西地区：5/27の明治学院大学「戸塚祭り」に参加。お琴の演奏会・ワークショップを開催。
- ◇南地区：5/11に横国大留学生会館でのスプリングパーティーに参加。
- ◇北地区：7/21に地区交流会を「みなくる」で実施。12人参加。
- ◇中央地区：6/10に留学生2人を招待し地区交流会/懇親会を実施。10人参加。
- ◇湘南地区：6/15に顧問を交えて15人で交流会を実施。

### 委員会

- ◇会員委員会：6/24 マッチング検討会を実施。留学生名簿の更新作業。
- ◇広報委員会：RKK ニュース 72号の編集。RKK ニュース、HP への意見収集。
- ◇就活情報支援委員会：6/16に委員会を開催。就活情報のメール配信。
- ◇企画委員会：夢ファンド、寄附、賛助会員入会の推進。会議室予約システム対応。
- ◇会計委員会：収支決算・事業計画予算作成。
- ◇事務室：事業計画・議案書作成・総会開催。NPO 事業報告書の作成と提出。「しおり」の編集。

**新入正会員のみなさまへ：よろしくお願ひします！**

岸野任宏（旭区）

（敬称略）

## 会員募集中

留学生と国際交流を楽しみましょう！

- ・日本語学習支援
- ・文化/ファミリー交流
- ・工場/社会見学
- ・中国語学習

RKK の活動に興味をお持ちの方はホームページをご覧ください。

で検索をお願いします。



## 留学生の皆さんへ / For International Students

Let's join one-to-one Japanese lessons by volunteers.

- ・日常会話 (Daily Conversation)
- ・ビジネス会話 (Business Conversation)
- ・卒論、レポートの文書指導 (Writing Japanese Theses & Reports)
- ・新聞／書籍等の読解 (Reading Newspaper & Books)
- ・日本語能力試験 (Japanese Language Proficiency Test)
- ・就職活動 (Job Hunting ・ Entry sheets/Interviews)

Enjoy visiting plants/sightseeing and various cultural & family exchanges.

Contact: 津田(Tsuda) e-mail; sakura\_tsudakei@ybb.ne.jp

Home Page : <http://rkk.world.coocan.jp/>

Scan this code for getting application form



## NPO法人 留学生と語り合う会

連絡先 : 〒245 - 0008 横浜市泉区弥生台 9-1-12-407 萩原 敦

Eメール : [rkk1025office@yahoo.co.jp](mailto:rkk1025office@yahoo.co.jp) Tel & Fax 045-813-8327

ホームページ : <http://rkk.world.coocan.jp/>

Friendship Association for International Students and Japanese Volunteers

RKK ニュース編集 : RKK 広報委員会 夏号担当 西岡誉富 July 24, 2018

無断転載をお断りします。

